

AXIS Sensor Metrics Dashboard

ユーザーマニュアル

AXIS Sensor Metrics Dashboard

目次

情報	3
サポートされているセンサー	3
はじめに	4
アプリケーションのダウンロードとインストール	4
アプリケーションを設定する	5
データソースを追加する	5
データファイルをダウンロードする	5
データソースを削除する	5
シリアルModbusデータソースを追加する	6
イベント管理でセンサーデータを使用する	7

AXIS Sensor Metrics Dashboard

情報

情報

AXIS Sensor Metrics Dashboardを使用すると、装置に接続されているセンサーから構造化された方法でデータを収集し、保存できます。

サポートされている装置のリストは、axis.comにある製品ページで確認できます。

サポートされているセンサー

現在サポートされているセンサーのリスト:

- Axis内蔵加速度センサー。
- RS232シリアルポートモードを使用する衛星ナビゲーションシステム。
- IPまたはRS485シリアルポートモードを使用するすべてのシングルレジスタデータホルダーModbus装置。

注

使用するシリアルポートモードを選択する必要があります。

Modbusデータソースは1つのレジスタからのみ読み取ります。より多くのレジスタにアクセスするには、さらにデータソースを追加します。

AXIS Sensor Metrics Dashboard

はじめに

はじめに

アプリケーションのダウンロードとインストール

アプリケーションをインストールするには、axis.com/products/axis-sensor-metric-dashboard/に移動し、最新バージョンをダウンロードします。アプリケーションをインストールするカメラにログインし、以下の手順に従います。

1. [Apps (アプリ)] に移動します。
2. [Add app (アプリの追加)] をクリックします。
3. ダウンロードフォルダー内のファイルを選択します。
4. [Install (インストール)] をクリックします。
5. アプリを起動すると、アプリがアクティブ化されます。

注

アプリケーションをアップグレードするには、新しいバージョンをインストールするだけです。以前のバージョンをアンインストールする必要はありません。

AXIS Sensor Metrics Dashboard

アプリケーションを設定する

アプリケーションを設定する

データソースを追加する

AXIS Sensor Metrics Dashboardにデータソースを追加するには:

1. 装置のインターフェースにログインします。
2. [Apps (アプリ)] に移動します。
3. **AXIS Sensor Metrics Dashboard** に移動し、[Open (開く)] をクリックします。
4. [Data sources (データソース)] に移動します。
5. [+ Add data source (データソースの追加)] をクリックします。
6. ソースの名前を入力します。
7. ドロップダウンメニューでタイプを選択します。
8. タイプ固有の設定を行います。

データファイルをダウンロードする

収集したセンサーメトリックデータをファイルにダウンロードし、Microsoft Excelなどのアプリケーションでより便利に使用できます。ファイル形式はCSVです。

データファイルをダウンロードするには:

1. [Data files (データファイル)] に移動します。
2. ダウンロードするファイルを選択します。
3. ファイル名の横にあるダウンロードアイコンをクリックします。

ファイルサイズによっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。

データソースを削除する

不要になったセンサーメトリックデータソースを削除することもできます。そのソースからのデータは収集されなくなります。これは、そのソースから保存されたデータには影響しません。

データソースを削除するには:

1. [Sources (ソース)] に移動します。
2. 削除するソースのメニューボタンをクリックします。
3. ドロップダウンメニューで [Remove (削除)] を選択します。
4. [Yes (はい)] をクリックして確定します。

AXIS Sensor Metrics Dashboard

シリアルModbusデータソースを追加する

シリアルModbusデータソースを追加する

この使用例では、シリアル接続を介してModbusデータソースを追加します。

1. **[+ Add Data (データの追加)]** をクリックします。
2. ソースの名前を入力します。
3. **[Type (タイプ)]** ドロップダウンメニューで **[Modbus over Serial (シリアル経由のModbus)]** を選択します。
4. **[Current serial port configuration on main unit (メインユニットの現在のシリアルポート設定)]** リンクをクリックして、Modbus装置の要件に一致するようにシリアルポートを設定します。
5. アプリケーションに戻り、**[Device ID (デバイスID)]** を設定します。必要に応じて、Modbusベンダーのマニュアルを参照してください。
6. 読み取り元の **[Register (レジスタ)]** を設定します。通常、これはベンダーのマニュアルにも記載されています。
7. **[Scaling (スケーリング)]** と **[Offset (オフセット)]** を指定します。これを使用して、センサーデータの測定単位を変換できます。
8. **[Test read (テスト読み取り)]** をクリックして、どのセンサー値が読み取られるかを確認します。これは、装置が正しく設定され、配線されていることを確認する簡単な方法です。
9. **[Sample time (サンプル時間)]** を設定し、時間の単位を選択します。
10. **[Retention time (保存期間)]** を設定します。保存期間には、作成されたデータファイルがSDカード上に保持される期間を指定します。指定した期間が経過すると、それらのファイルは自動的に削除されます。
11. **[Add (追加)]** をクリックします。
12. **[Start (開始)]** をクリックして、データソースからの読み取りを開始します。

注

[Write to Modbus device (Modbus デバイスに書き込み)] セクションで、特定のレジスタの値を変更できます。たとえば、Modbusセンサーのボーレートを変更できます。別の使用例としては、同一の装置が複数ある場合に、それらの装置が並列に通信できるようにするために、それらの装置に異なる装置IDを割り当てます。

AXIS Sensor Metrics Dashboard

イベント管理でセンサーデータを使用する

イベント管理でセンサーデータを使用する

この使用例では、装置の加速度センサーからのデータに基づいてLEDを点滅させます。

装置のWebインターフェースでアプリに移動します。

1. [Sources (ソース)] に移動します。
2. [Accelerometer (加速度センサー)] に移動し、[...] メニューをクリックします。
3. ドロップダウンメニューで [Edit (編集)] を選択します。
4. [Shock event (衝撃イベント)] を有効にします。
5. [Shock trigger level (衝撃トリガーレベル)] を、超えるとイベントがトリガーされる閾値に設定します。
6. [Save (保存)] をクリックします。
7. [System > Events (システム > イベント)] に移動します。
8. [+Add a rule (ルールの追加)] をクリックします。
9. ルールの名前を入力します。
10. [Condition (条件)] で、ドロップダウンメニューから [AXIS Sensor Metrics Dashboard: Shock (AXIS Sensor Metrics Dashboard: 衝撃)] を選択します。
11. [Action (アクション)] で、[Flash status LED (ステータスLEDの点滅)] を選択します。
12. 色を選択します。
13. 点滅の持続時間を選択します。
14. [Save (保存)] をクリックします。

